



報道資料

2012年5月2日

報道関係者各位

■ 第7回 札幌国際短編映画祭 (SAPPOROショートフェスト2012) 開催概要のお知らせ

◆正式名称 (日本語/英語)

第7回 札幌国際短編映画祭 / 7th Sapporo International Short Film Festival and Market

◆通称 (日本語/英語)

SAPPOROショートフェスト2012 / SAPPORO Short Fest 2012 (略称: SSF2012)

◆主催

SAPPOROショートフェスト実行委員会/札幌市

◆開催日程:

プログラム上映: 2012年9月12日(水) ~17日(月) までの6日間

オープニングレセプション: 2012年9月11日(火)

アワードセレモニー: 2012年9月16日(日)

◆会場:

メイン上映会場: 札幌プラザ2・5/札幌市中央区南2条西5丁目(狸小路5丁目)

特別上映会場: シアターキノ/札幌市中央区南3条西6丁目南3条グランドビル2F(狸小路6丁目)

マーケット・イベント会場: イベントスペースEDiT/札幌市中央区南2条西6丁目 南2西6ビルB1F

オープニングレセプション/アワードセレモニー: 札幌プリンスホテル国際館パミール(予定)

<その他、市内外のプロモーション会場を予定>

■今年の札幌国際短編映画祭 (SAPPOROショートフェスト) について

今年も昨年に引き続き札幌国際短編映画祭が培ってきた国際的なネットワークにより、日本から海外に、海外から日本に未来へのメッセージを送りたいと考えております。また、ともすると風化してしまう震災の現状やそこから見いださなければならない希望を伝えて行く為のプログラムとして「After 3.11」(東日本大震災関連の映画)特集をプログラムする予定です。

◎東日本大震災後の短編映画「After 3.11」(東日本大震災関連の映画)

2011年3月11日以降、映画製作者の意識も国内外を問わず大きな変化をもたらしました。昨年のSAPPOROショートフェスト(札幌国際短編映画祭)では、世界からの日本への応援メッセージに対し、日本から世界への感謝のメッセージ映像(アニメーション)を制作し世界へ配信しました。その後も世界中で日本のこの大災害をテーマにショートフィルムが制作され世界中の映画祭でこのテーマの作品が上映されてきています。SAPPOROショートフェストでは、一般に公開される機会の無い貴重な作品を特集した特別プログラムを予定しています。

本年度はこの他にも複数の特別プログラムを企画中です。



■SSF2012 今年の応募総数

世界93の国と地域から2723作品の応募

国別の応募数では、日本からの応募が379本と最多。(2006年の第1回から初の出来事)。次いでフランス:372本、スペイン:203本、アメリカ:198本と続きます。今年もウガンダ、モザンビーク、ケニア、ルワンダなどアフリカ諸国からの応募の他、カンボジア、マダガスカルからなど世界の隅々の国からも応募がありました。

◎日本の作品応募が過去最多の**379作品!**

国内作品(日本から応募)が今年初めて過去最多の応募数となりました。これはベルリン国際映画祭、カンヌ映画祭、ベネチア国際映画祭などで上映されている**平林勇**監督や今年ベルリン国際映画祭短編部門で銀熊賞を受賞した**和田淳**監督など、世界で活躍する新しい才能を紹介する映画祭として、また世界の映画祭とネットワークする登竜門的存在として札幌国際短編映画祭が注目されてきた結果だと思っております。

■SSF2012国際審査員



ローラ・アルバート

Laura Albert / 作家(米国)

JTリロイ名義で発表され、世界的なベストセラーとなった『サラ、神に背いた少年(Sarah)』、『サラ、いつわりの祈り(The Heart Is Deceitful Above All Things)』の著者。2004年にはイタリアの女優アーシア・アルジェント監督・脚本・主演で『サラ、いつわりの祈り』が映画化された。2003年にガス・ヴァン・サントがカンヌ映画祭で最高賞を受賞した『エレファント』のオリジナル・スクリプトを担当、同作品の共同プロデューサーでもある。



クァク・ジェヨン

Kwak Jae-yong / 映画監督・脚本家(韓国)

2001年に韓国で公開されたロマンティック・コメディの『猟奇的な彼女』はアジア各国で大ヒット。ヒロインのチョン・ジヒョンはアジアのスターとなった。2004年、同主演で『僕の彼女を紹介します』を監督。2010年には綾瀬はるか・小出恵介を主演に日本の俳優・スタッフ陣で制作された『僕の彼女はサイボーグ』(日韓共同製作)が日本で劇場公開され話題を呼んだ。又同年には「最強☆彼女」を制作。



小林 武史

Takeshi Kobayashi / 音楽家、ap bank代表理事(日本)

Mr.Childrenなど数多くのアーティストのレコーディング、プロデュースなどを手がける。『スワロウテイル』、『リリイ・シュシュのすべて』、『地下鉄(メトロ)に乗って』、『幸福な食卓』などの映画音楽、『バンデイジ』では監督も務めた。'03年に「ap bank」を立ち上げ、「ap bank fes」の開催、食や農の実践など活動は多岐にわたる。東日本大震災以降、「ap bank Fund for Japan」を立ち上げ、被災地への支援も行っている。

*:4月25日現在、他2名(北海道、ヨーロッパ)の審査員を予定。



■札幌国際短編映画祭について

2006年から開催し、今年で第7回を迎える札幌国際短編映画祭（SAPPOROショートフェスト）は、世界から注目される国際映画祭として、以下の目的で始められました。

1) 新しい才能の発掘／育成 2) 国際交流 3) 地域活性化 4) 産業創出 5) 映像教育

◎国内の作品を国内外（世界）にプロモートする「ショートフィルムマーケット」

SAPPOROショートフェストでは、国内で唯一ショートフィルムを売買できるマーケットを有しています。作品のカタログを管理するスポットライツ（別途）との連携や、映画祭期間中のマーケット会場での作品／フィルムメーカーなどのプロモーションの機会を設けており、積極的にショートフィルムや監督たちをプロモートして行きます。

昨年も6日間で1万人を超える観客動員をし、国内最大級の映画祭ではありますが、まだまだ多くの方に魅力を伝えられていないのも事実です。今年はさらにより多くの方にショートフィルムの魅力を伝える為に、オフィシャル会場以外のプロモーション会場を積極的に展開予定。札幌（他）の街中にショートフィルムとその話題があふれるような企画を打ち出して行きます。

今後、企画確定次第順次発表予定。コンペティション入選作の発表は6月上旬を予定しております。

【上記プレスリリースの問い合わせ先】

SAPPOROショートフェスト実行委員会 事務局 本間／久保／菅田

TEL 011-817-8924 FAX 011-812-6550

メール info@sapporoshortfest.jp Web <http://sapporoshortfest.jp>